

「自律」「共生」 ～学力向上 感動の創造 共有・一体感～

南部中学校だより

2022・8・30 第6号



玄関前、満開の黄花コスモス

『サンドイッチの中味』の話

南部中学校長 黒見隆久

8月24日（水）に2学期の始業式を迎えました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をふまえて、若干の欠席者はあったものの、夏休み中には大きな事故やケガ、病気、トラブルなどの報告もなく、みんなが元気な顔で登校できたことを何よりうれしく思いました。夏休み前に話した「YDK（やればできる子）」精神で、何かひとつでも実践できたのなら、なおうれしい限りです。

2学期は中学校行事には大きなものがたくさんあります。9月10日（土）には体育祭、11月3日（祝日）には文化祭を控え、生徒たちは既に体育祭の計画、準備に入っています。他にも修学旅行、駅伝競走大会、吹奏楽のコンテスト、1、2年生は秋季総合体育大会（新人戦）など行事の連続です。また、3年生はいよいよ高校入試に向けて、第3コーナーに突入といった感じになるでしょうか。とにかく2学期（83日間）は、「勝負」・「充実」が求められる期間になります。

2学期は、例えるならば「サンドイッチの具」の部分ではないでしょうか。玉子、ツナ、ハムレタス、カツ、ポテサラ、BLT、フルーツ…etc. 種類は無限のようにあって、人によって味の好みもさまざまです。ただ共通して言えることは、サンドイッチは「具（中味）」がメインだということです。（パンの善し悪しも当然ありますが……「パンこだわり派」の皆さんには申し訳ありません。）

今、どんなサンドイッチが食べたいのか？（求められているのか？）、どのサンドイッチがおいしそうなのか？、どのサンドイッチを食べたら満足感が得られるのか？……サンドイッチの中味は、そのサンドイッチの価値と評価を決める重要な部分です。

中学校生活の2学期は、まさに一人ひとりの、そして学校全体の価値と評価を決める大切なときだと思えます。体育祭や文化祭の団結と協力、一体感。駅伝や部活動の苦しい練習と達成感。入試に向けた本気の頑張りなど、必ず私たちの成果につながります。

始業式の日、そんな話をして南部中学校の2学期がスタートしました。今学期も引き続きよろしく願いいたします。

栄光の記録 ～夏休み編～

【ソフトボール】（法勝寺との合同チーム）

県総体 準決勝 17-0 対福米中 勝利
決勝 13-6 対東山中 <優勝>
中国大会 2回戦 2-14 対倉敷西中(岡山) 敗退

【水泳】

県総体 男子 200 ㍻平泳ぎ 岡崎良佑 7位
100 ㍻平泳ぎ 岡崎良佑 9位

県学年別水泳大会

1年男子 200 ㍻平泳ぎ 岡崎良佑 1位
1年男子 100 ㍻平泳ぎ 岡崎良佑 2位

県民スポレク祭

1年男子 100 ㍻平泳ぎ 岡崎良佑 3位
西伯郡代表 400 ㍻リレー 岡崎良佑 5位

【吹奏楽】

全日本吹奏楽コンクール
鳥取県大会 小編成部門 金賞

【野球】

TKSS杯 西伯郡中学校野球大会 優勝

全日本春季少年軟式野球大会

西伯郡・西部地区予選会

決勝 10-5 対境港合同チーム
《優勝》⇒(9/23 県大会へ)



2学期の学校生活が始まりました！ ～学校評価アンケート結果を踏まえた取り組み～

1学期末に実施した保護者・生徒への学校評価アンケート結果をもとに、各学年の教職員で話し合った「1学期の振り返りと2学期の実効策」をお伝えします。2学期も保護者、地域と連携しながら、学校での生徒の生活・学習を進めていきたいと思えます。

【3年生より】

- 「先生方は、生徒のことをよく見てくれている。」に対する生徒の肯定的な回答が多くありました。2学期も、それぞれの教師が、それぞれの立場で寄り添いながら生徒と関わっていききたいと思えます。
- 「自主的、計画的に家庭学習をしている。」に対する評価が他学年より低いですが、3年生は自分に厳しく評価しているのではないかと考えられます。しかし、授業や学級で、質問できる雰囲気づくりを意識したり、何から取り組めばよいか分からない生徒もいるので、自分で学習を進める方法を伝えるようにします。
- 「自分の良さを知り、将来の夢や目標を持っている。」とする生徒の割合が低いようです。進路と現実のギャップを感じ、目標が揺らぎ、あきらめてしまうところがあると考えました。進路学習を通して、学習への動機付けをするとともに、道徳や総合的な学習などを通して、様々な将来のモデルを意識させたり経験させたりする機会を増やしたいと思えます。



8/24 体育祭に向けた組会の様子

【2年生より】

- 昨年度より自己存在感を高めている生徒が増えているようです。2学期も適切なタイミングとアプローチ方法を話し合い、問題をかかえる生徒を見逃さず支援していきます。
- 定期テスト前の学習時間記録は、モチベーション維持に効果があったようです。今後さらに、教科担当と連携して宿題の出し方を考えたいと思えます。また、スタプロ(受験用テキスト)の取り組みを9月体育祭後から始める予定です。
- メディアコントロールの取り組みは効果もあるようで、やる価値を感じる宿題や課題を提供することで、メディアの時間を減らすことを考えてきたいと思えます。

【1年生より】

- 多くの生徒が、「先生は助言してくれたり、よく見てくれていたりしている。」と感じているようで、2学期もさらに一人一人へ丁寧な関わりを心がけていきます。
- 生徒は、「ルールやマナーを守って生活できている。」と思っているようですが、確認する必要があることは、全体の場で確認し、正すべきことがあれば、個別に優しく関わり、正しい方向に向かわせるよう心がけます。
- 「あきらめずに最後までやりきる」という質問項目が、他の項目よりも少し低いようです。そこで、見通しを持って行動したり、計画を立てて取り組むことの大切さを伝えると共に、どの活動場面でも、活動前に「手順」や「終わり方」をきちんと伝えたり、一度に多くの指示をしないで、取り組みやすいようにスモールステップで指示を出すように心がけたいです。

南中 NOW!

はこちらからどうぞ

